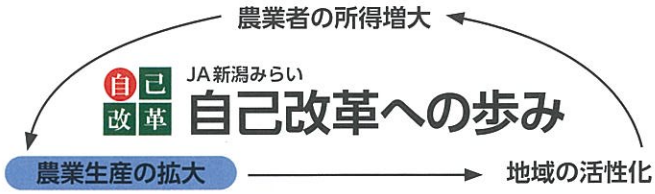
担い手の育成・支援に取り組み、地域農業の活性化を目指します。

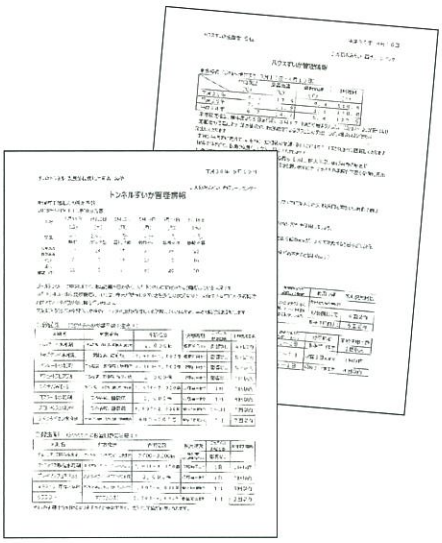


JA新潟みらいでは、『元気あふれる地域農業の活性化と次世代につなぐ農業づくり』を目指し、「農業生産の拡大」を図るため、担い手の育成・支援に取り組んでいます。平成30年度の主な内容は以下のとおりです（４月末現在）。

○営農指導体制の強化について

出向く営農指導体制を構築するとともに営農指導員の資質向上に取り組んでいます。

❶栽培指導情報を随時発信しています。



❷４月よりTAC通信をリニューアルしました。

❸合計46名の営農指導員がグリーンセンターなどに配置されていますが、各地区の営農指導方法などの共有のため、営農指導員の現地研修を継続実施中です。４月は新潟西地区の春かぶや白根地区・横越地区の玉ねぎの研修を行いました。次回はキュウリの予定です。

▲玉ねぎの圃場視察（白根地区）

○相談機能の発揮について

農地集約や法人化、集落営農、機械の共同利用等組織化に向けた相談機能を発揮し、行政と連携して支援・育成に取り組んでいます。

・法人化支援相談５件（白根地区１件、五泉地区１件、亀田・横越地区３件）
・営農改善支援相談１件（白根地区）
・農機具取得計画相談１件（阿賀地区）

○新規就農者を対象とした技術指導や経営支援について

新規就農者を対象に、行政・関係機関と連携した技術指導や経営支援に取り組んでいます。

・新規就農者指導会（作目の指導会等）を３回（白根地区２回、阿賀地区１回）実施しました。

○税理士などによる税務研修会の開催について

税理士などによる税務研修会を開催するとともに、確定申告書の内容確認のため、派遣税理士制度等の普及拡大に取り組んでいます。

・税理士等による税務研修会を12回（白根地区３回、亀田・横越地区４回、新潟西地区５回）実施しました。

皆さまから
「JAはよくやっている」
「JAは良い方向に変わってきた」
と思っていただけるように、
JA新潟みらいは自己改革に取り組みます。

営農企画課から

４月から営農企画課が始動しました。新しい発想や企画を具体化し、各営農指導員自らが具体的なプランの作成と実践ができる環境を整え、実践状況の把握と管理、成果の検証とサポートを行います。

営農企画課 課長
石川　勝幸

乙女座 8/23 － 9/22
｜全体運｜できる人と比べて落ち込みやすい暗示。「人は人、自分は自分」と捉えるのがベスト。気晴らしには散歩が吉
｜健康運｜食べ過ぎる傾向があるかも。節制が必要　｜幸運の食べ物｜スルメイカ